

千値練
SEVEN ADVENTURE

機甲創世紀
モスピーダ
MOSPEADA

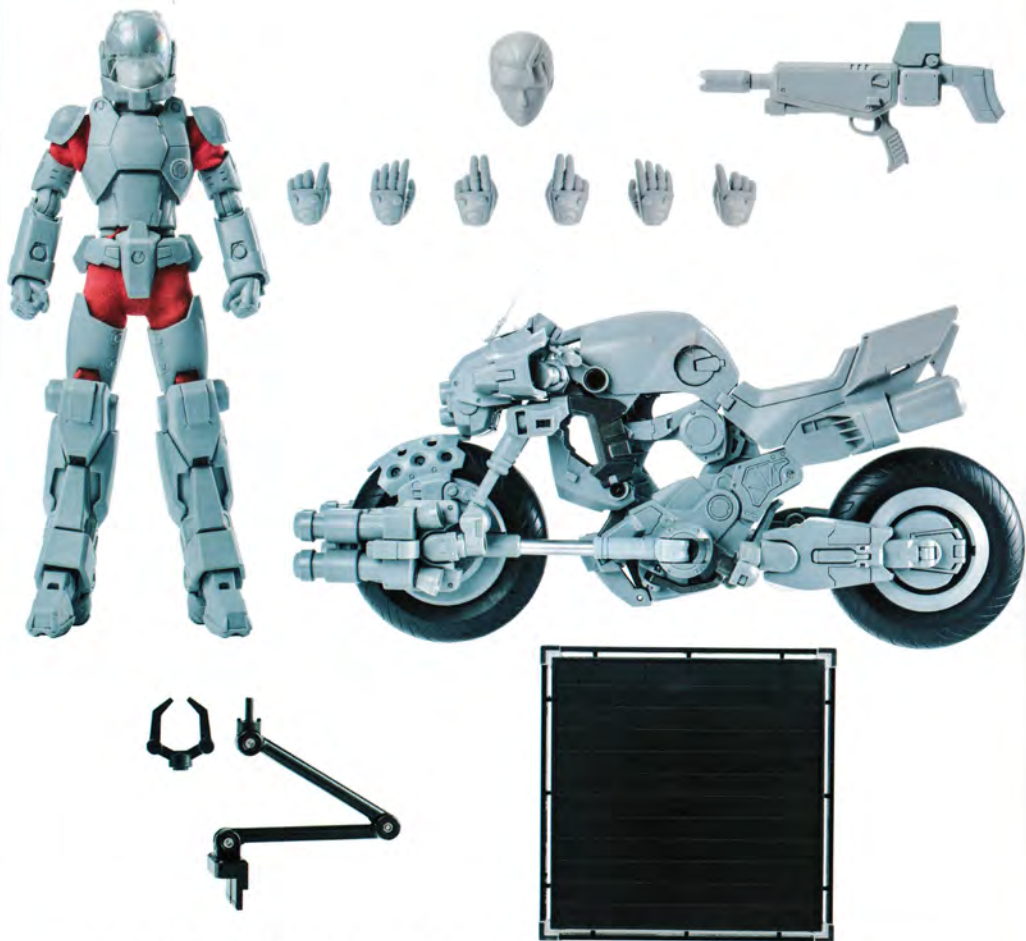


illustration : Mercyrabbit

© タツノコプロ

RIROBOT 018 1/12 SCALE VARIABLE TYPE STICK VR-052F

取扱説明書



※本書の画像には試作品を使用しています。実際の商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

VR-052F モスピーダ、フィギュア（スティック）、差し替え頭部、ビームキャノン
左右握り手×2、左右開き手、左右武器持ち手、左右ハンドル握り手、台座

取り扱う前に必ずお読みください

※本体全体に彩色を施しています。取り扱いの際に色が移ったり、傷つく恐れがあります。

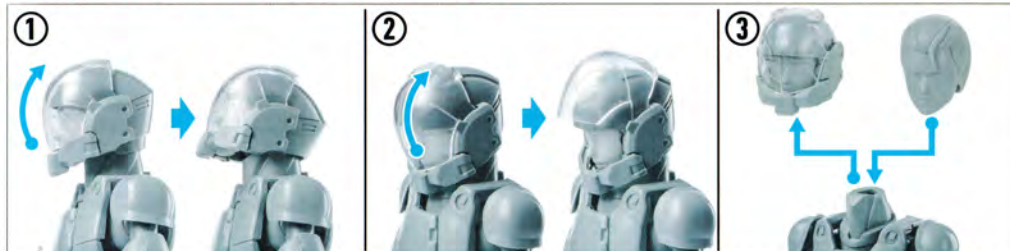
※先端が尖ったパーツが非常に多いです。破損やケガなどにご注意ください。

- 取り扱う際は事前に取扱説明書を確認してから行ってください。
- 対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品が含まれているので、お子様が誤って口の中に入れないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 尖った部分がありますので、取り扱いには十分気を付けてください。また尖った部分を人には決して向けないようにしてください。
- ぶついたり、振り回すなどの乱暴な取り扱いはしないでください。

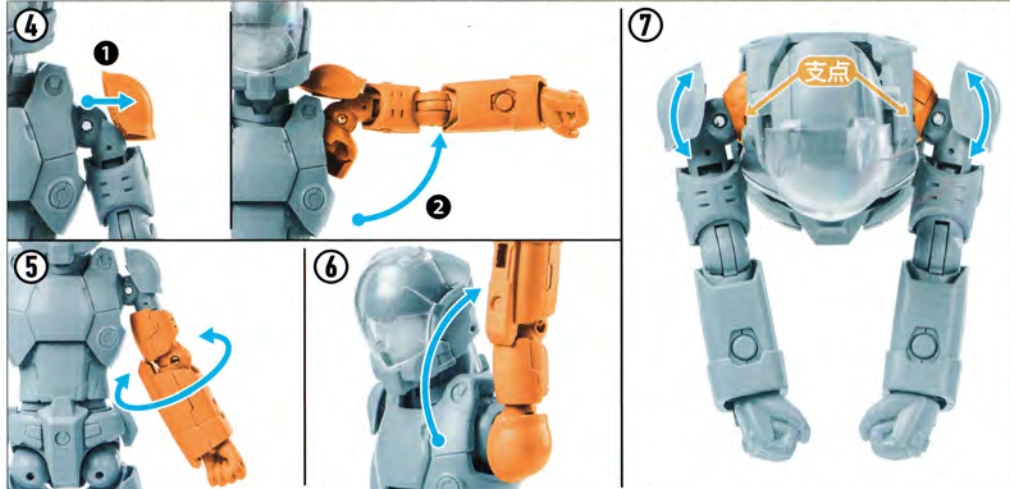
《使用上の注意》

- 本商品は構造上、多数のパーツで構成されています。過度な力を加えたり、落としたりすると破損の恐れがありますので、取り扱いの際はご注意ください。
- デザインの都合上、可動箇所への塗装を行っている箇所がございます。通常の可動でも塗装が剥がれやすいので、ご注意ください。
- 本商品はダイキャストが使用されており、塗装の剥がれやすさや尖った部分の取り扱いには十分気を付けてください。
- 細部の変形につきましては無理にとり行わず、取扱説明書を確認しながら慎重に行ってください。

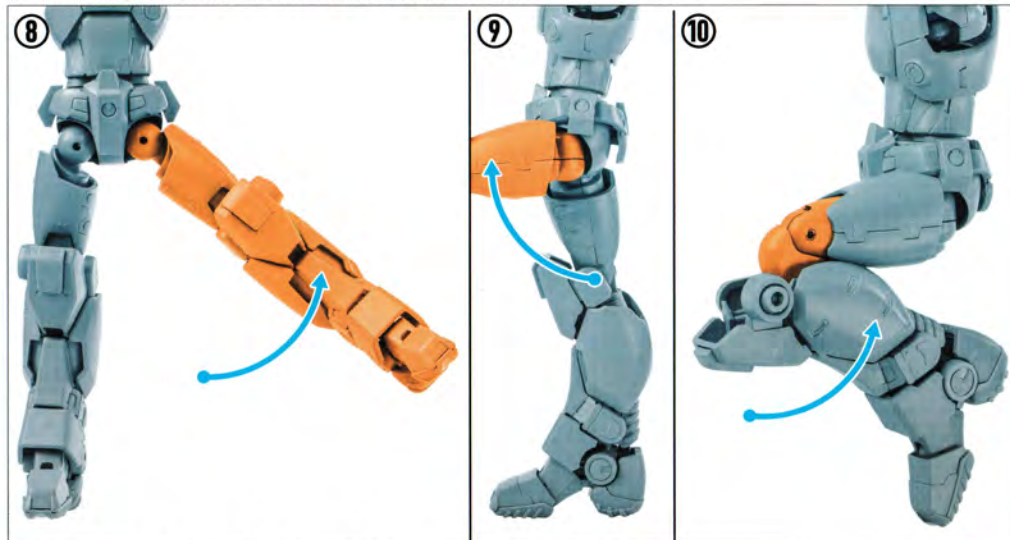
※実際の商品は関節部が布で覆われています。写真を参考に関節の向き等を確認しながら動かしてください。布部分を必要以上に引っ張ると破損の原因になります。



①後頭部の可動軸でヘルメット付き頭部は図の位置まで可動します。②ヘルメットのバイザーは図のように開閉できます。③頭部は図のように交換できます。



④肩アーマーを外側に避けると⑤腕を図の位置まで可動できます。⑤上腕部は図のようにロール可動します。⑥腕部は図の位置まで可動します。⑦図で示した箇所を支点に肩の付け根は前後に可動します。※肩アーマーを抑えながら動かしてください。※アーマーサイクル搭乗時には肩を図のように前にスイングさせるとハンドルが握らせやすくなります。（詳しくはP~を参照）

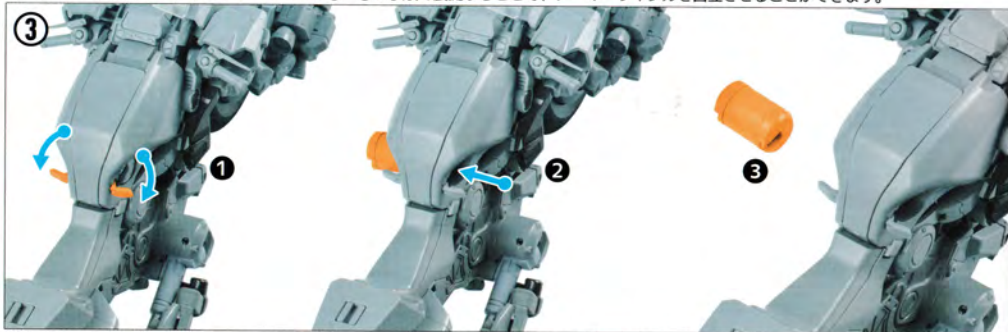


⑧股関節は図の位置まで可動します。⑨膝関節は2重関節になっていて図の位置まで可動します。

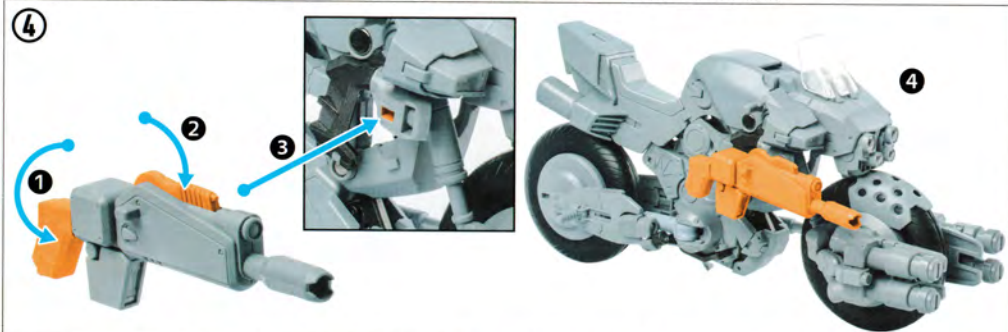


<説明のために後輪カバーを取り外しています>

①ステップを展開します。②サイドスタンドを①→②の手順で展開することで、アーマーサイクルを自立させることができます。



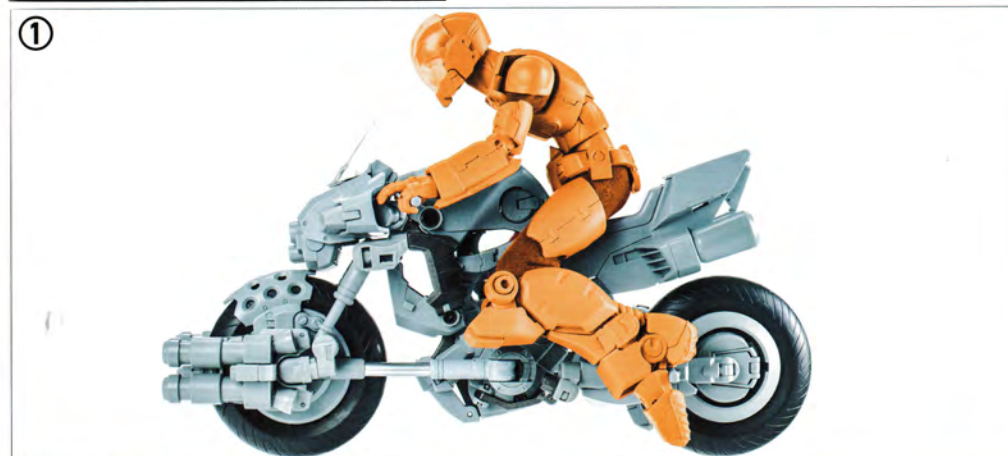
③HBTの取り出し方法。①図のように左右の爪を展開します。②矢印の方向にHBTを押し、③HBTを取り出せます。



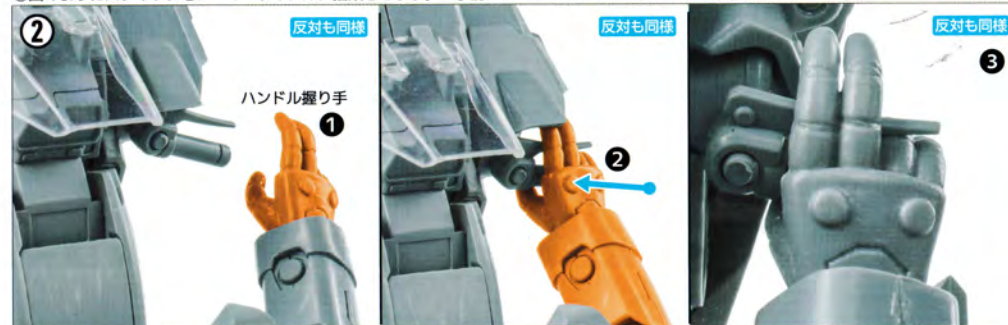
④ビームキャノンの取り付け方法。①図のように180度回転します。②図のように収納します。③本体側面の図で示した凹部分にビームキャノンを取り付けます。④取り付け見本になります。



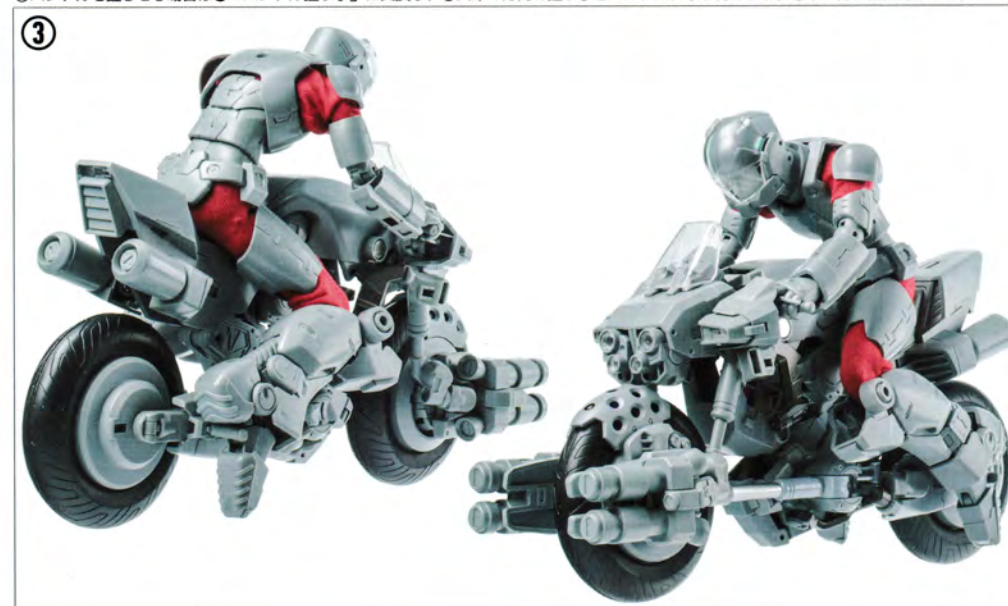
④ハンドパーツは図のようにお好みで交換できます。⑤武器持ち手に交換し、スティックにビームキャノンを図のように持たせることができます。※ビームキャノンの形状は握り手の状態に戻ります。



①図のようにスティックをアーマーサイクルに搭乗させます。※事前にアーマーサイクルのステップを収納します。

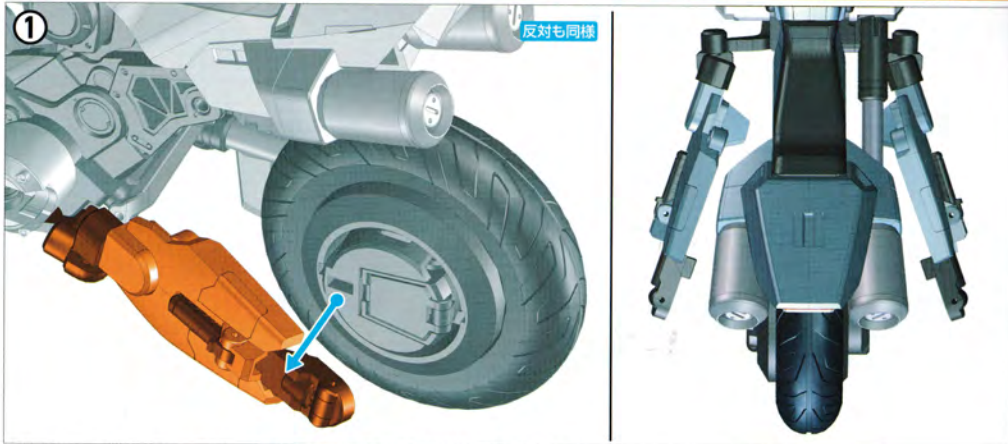


②ハンドルを握らせる場合は①「ハンドル握り手」に交換し、②矢印の方向で握り手をハンドルに取り付けます。③取り付け位置見本です。

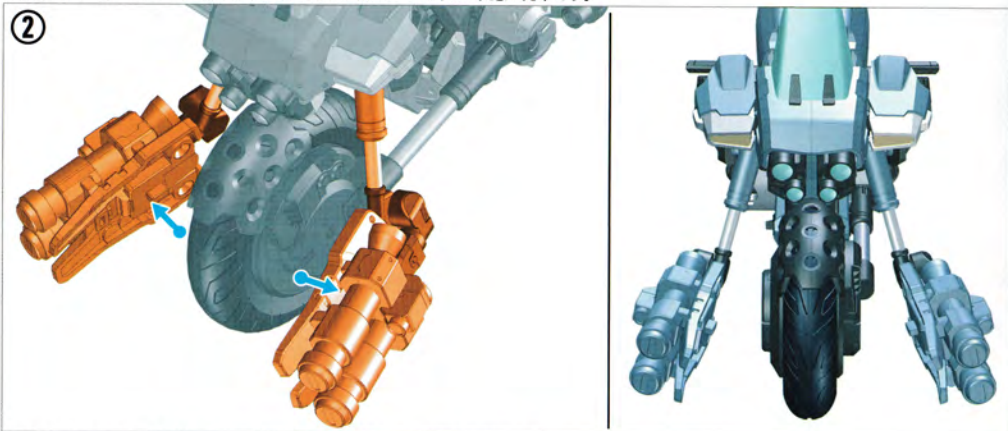


④フィギュアの搭乗見本になります。

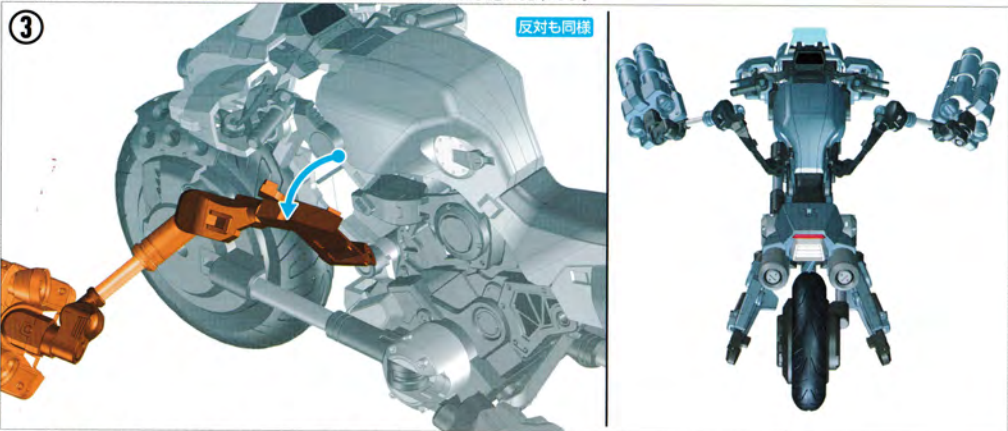
アーマーサイクルの変形は梱包時の状態から始めます。(ステップ/スタンドは収納してください。)
 ※実際の商品は関節部が布で覆われています。変形が複雑なためCADの画像を使用して説明していきます。



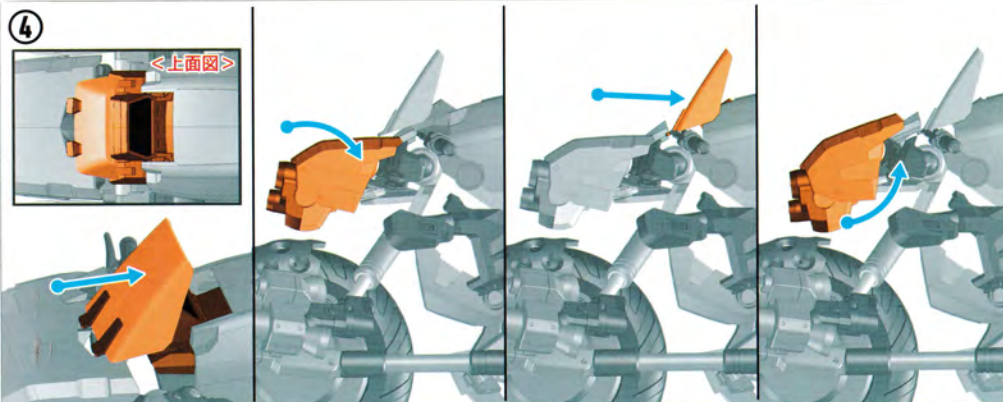
①後輪カバーのロックを外します。右図は左右の後輪カバーが外れた状態の見本です。



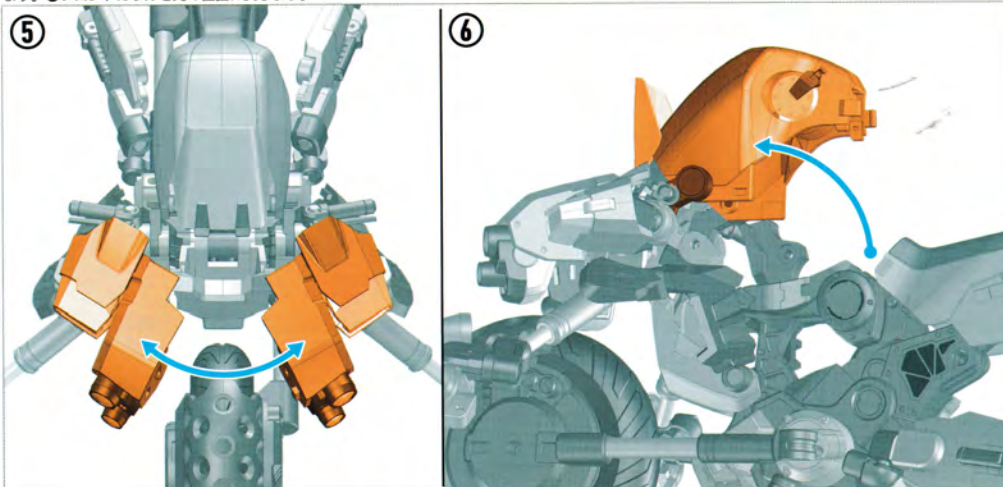
②前輪カバーのロックを外します。右図は左右の前輪カバーが外れた状態の見本です。



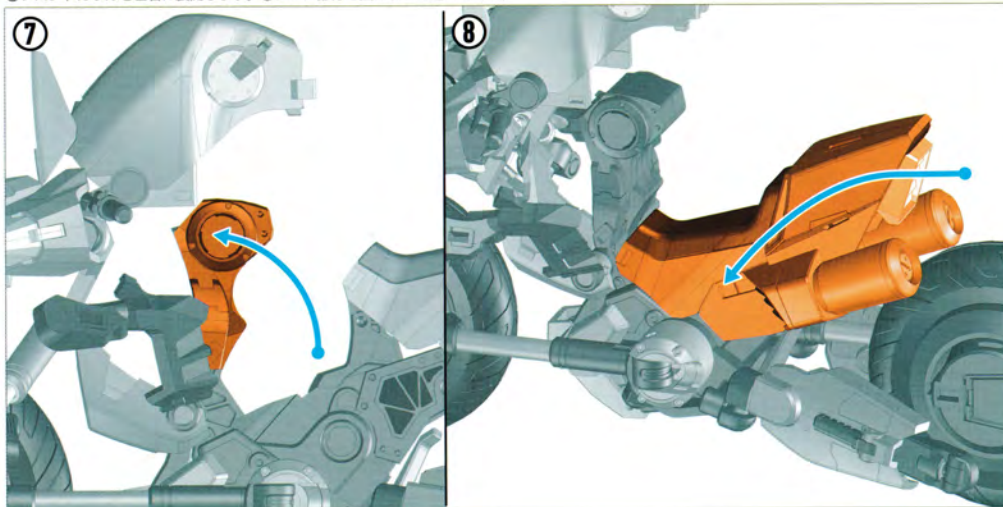
③エンジンガードのロックを外します。右図は現在の状態見本です。



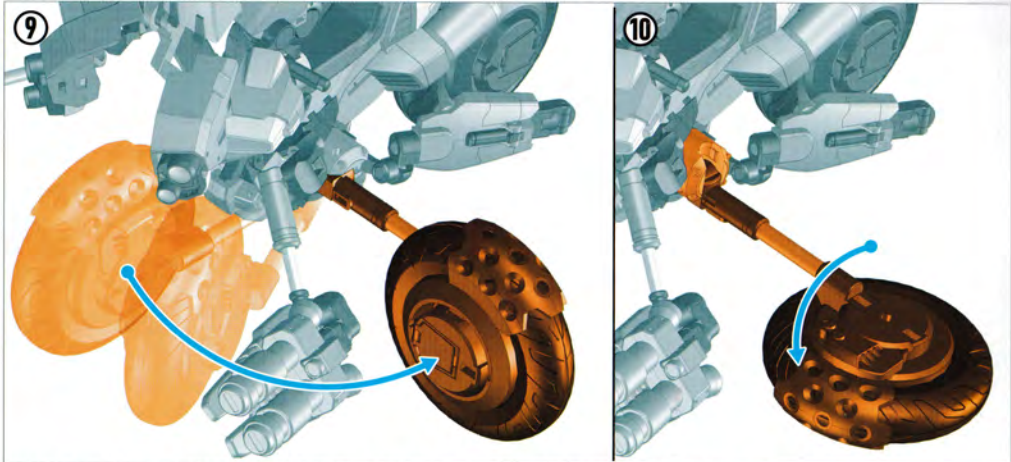
④バイザーを図の位置まで可動します。※上面図を参照してください。⑤フロントカウルを図のように傾けます。⑥バイザーを図の位置まで可動し、収納します。⑦フロントカウルを元の位置に戻します。



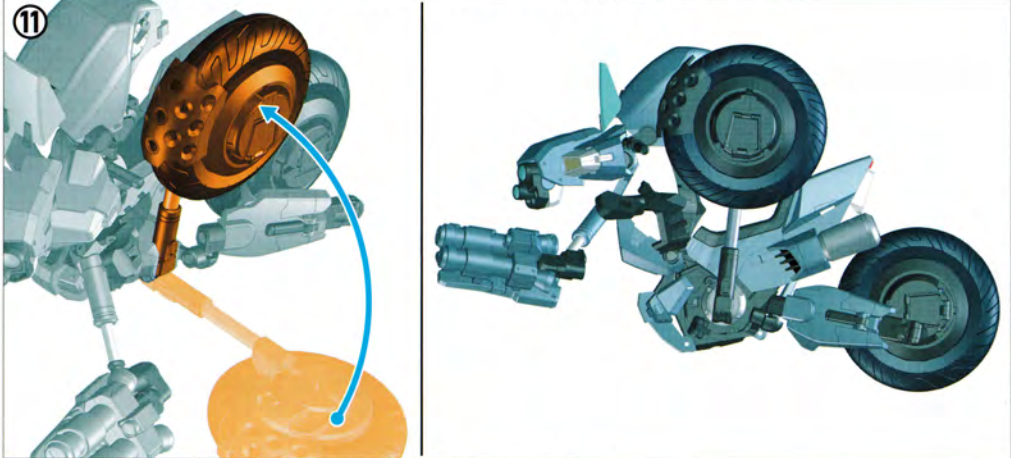
⑤フロントカウルを左右に展開します。⑥タンク部分を図のように起こします。



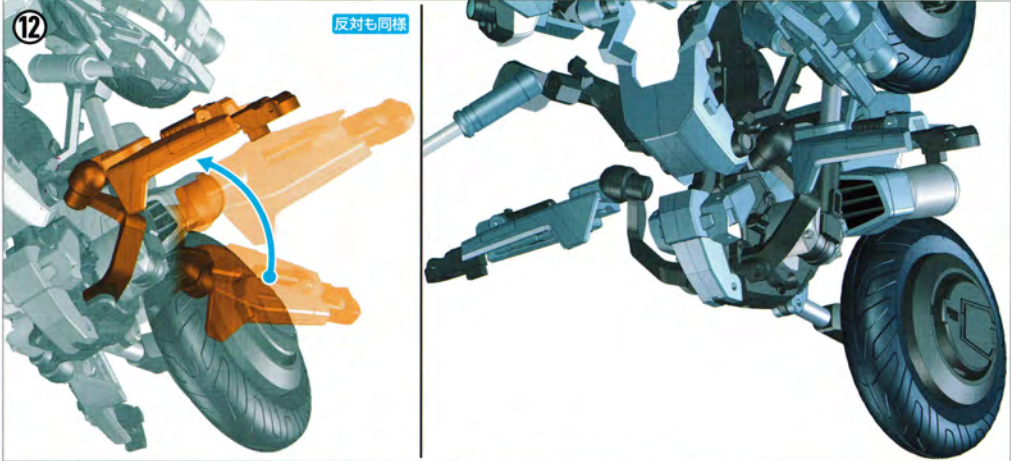
⑦エンジン部分を図のように起こします。⑧シートを矢印の方向に移動します。



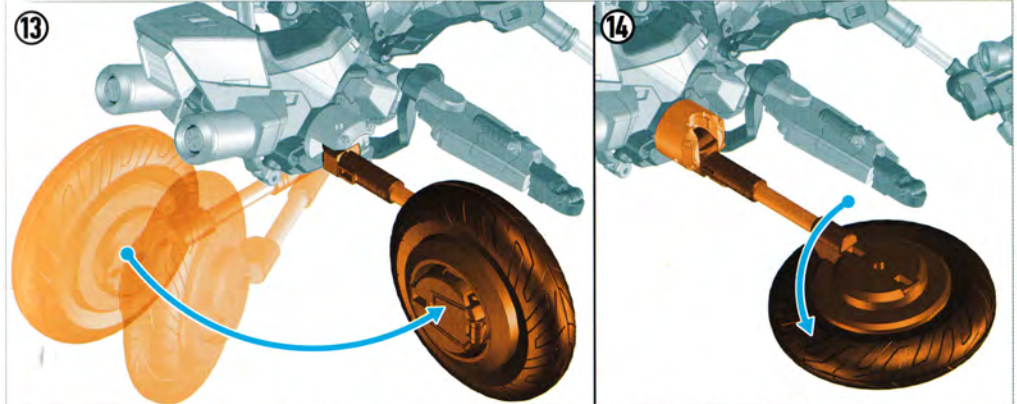
⑨前輪タイヤの「シャフト基部」を軸に90度移動します。⑩前輪タイヤの「基部」を矢印の方向に90度回転します。



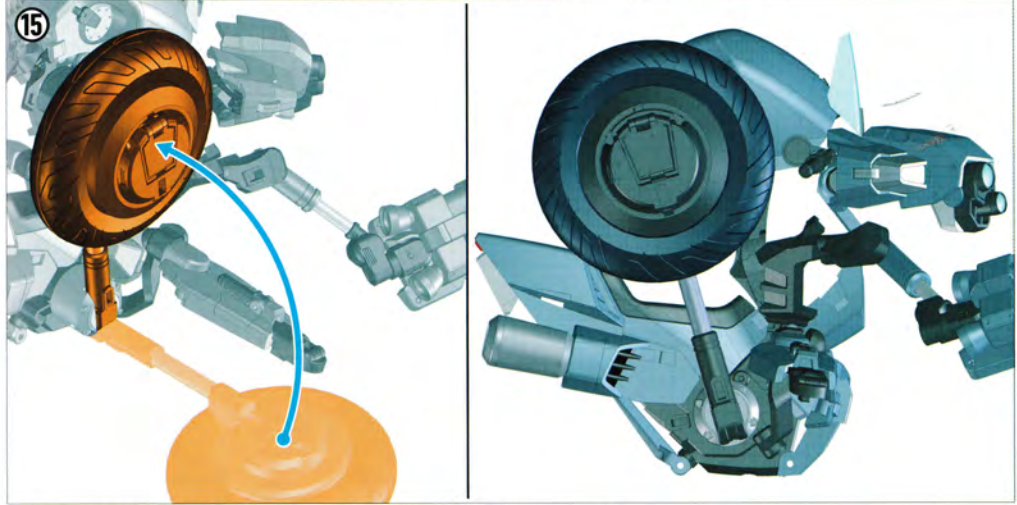
⑪「シャフト基部」を軸に前輪タイヤを上方向に移動します。右図は現在の状態見本です。



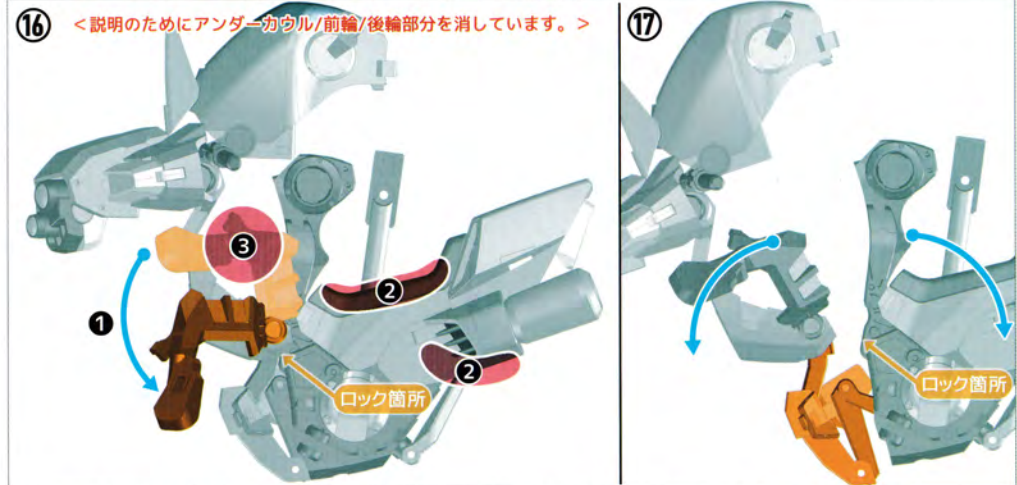
⑫後輪カバーのジョイントアームを図のように前方向に移動します。右図は現在の状態見本です。



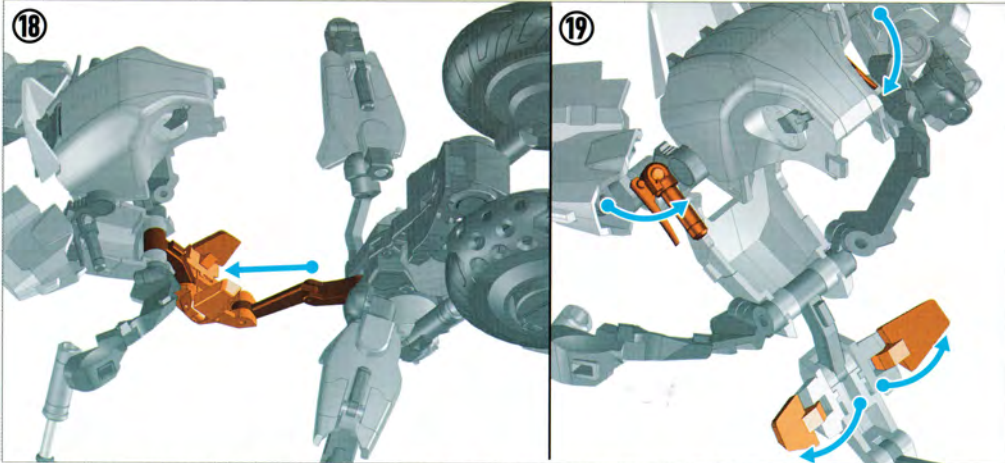
⑬後輪タイヤの「シャフト基部」を軸に90度移動します。⑭後輪タイヤの「基部」を矢印の方向に90度回転します。



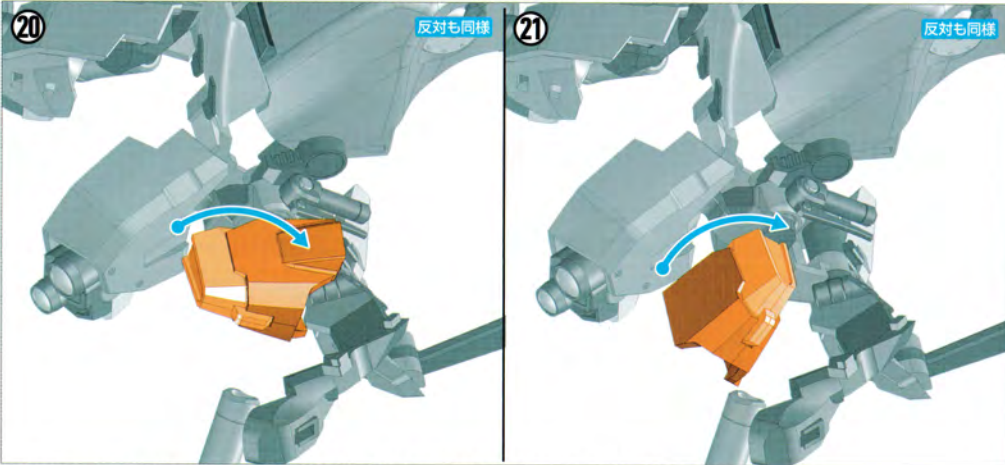
⑮「シャフト基部」を軸に後輪タイヤを上方向に移動します。右図は現在の状態見本です。



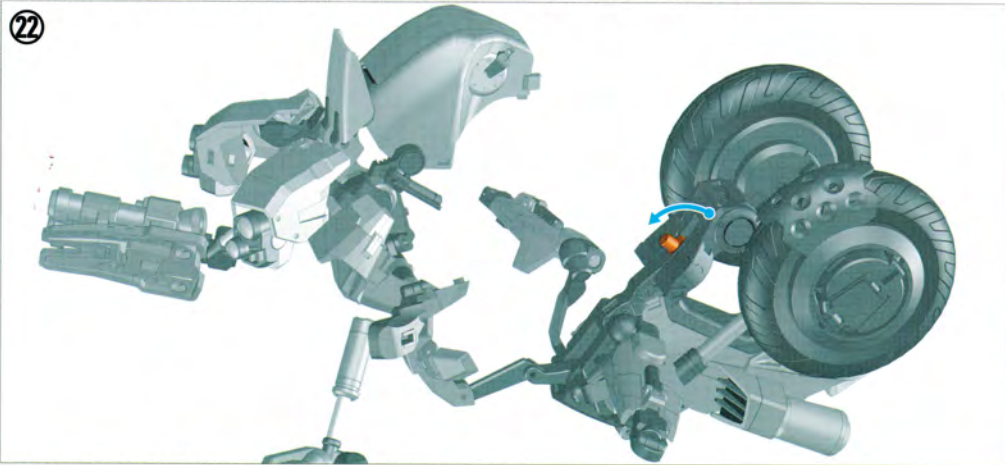
⑯①エンジンガード部分(反対側も同様)を図の方向に可動します。②の赤いスペースを右手で掴みます。③の赤いスペースに左の親指を差し込み、⑦矢印の方向にゆっくりと力を込めてフレームのロックを外します。



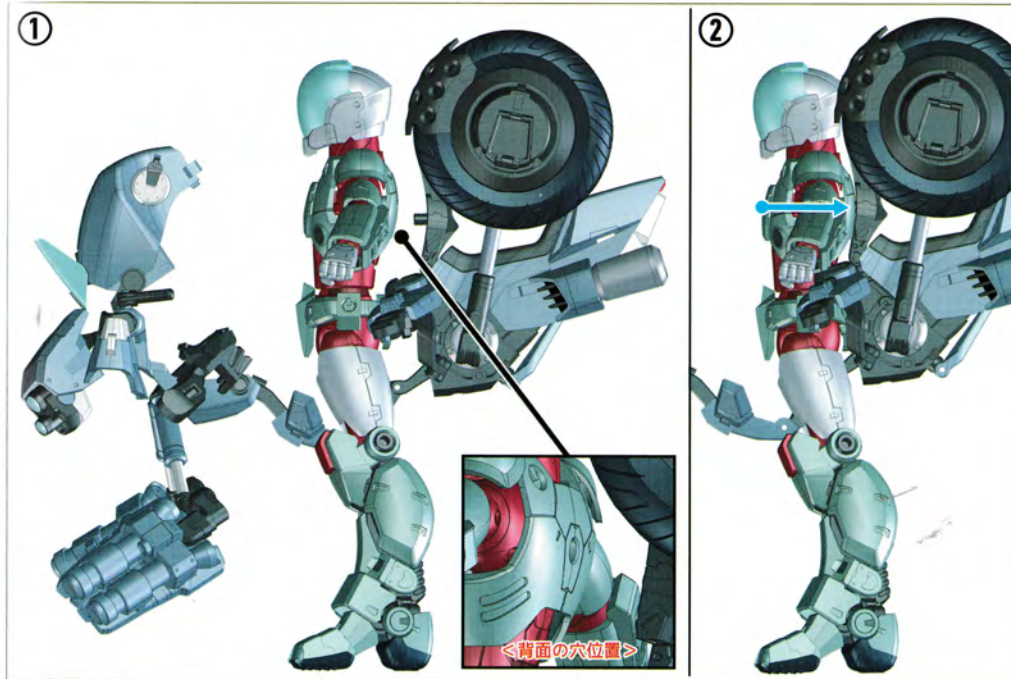
⑱図で示したフレームを引き出します。⑲ハンドル部を図のように回転させ、アンダーカウル部を左右に展開します。



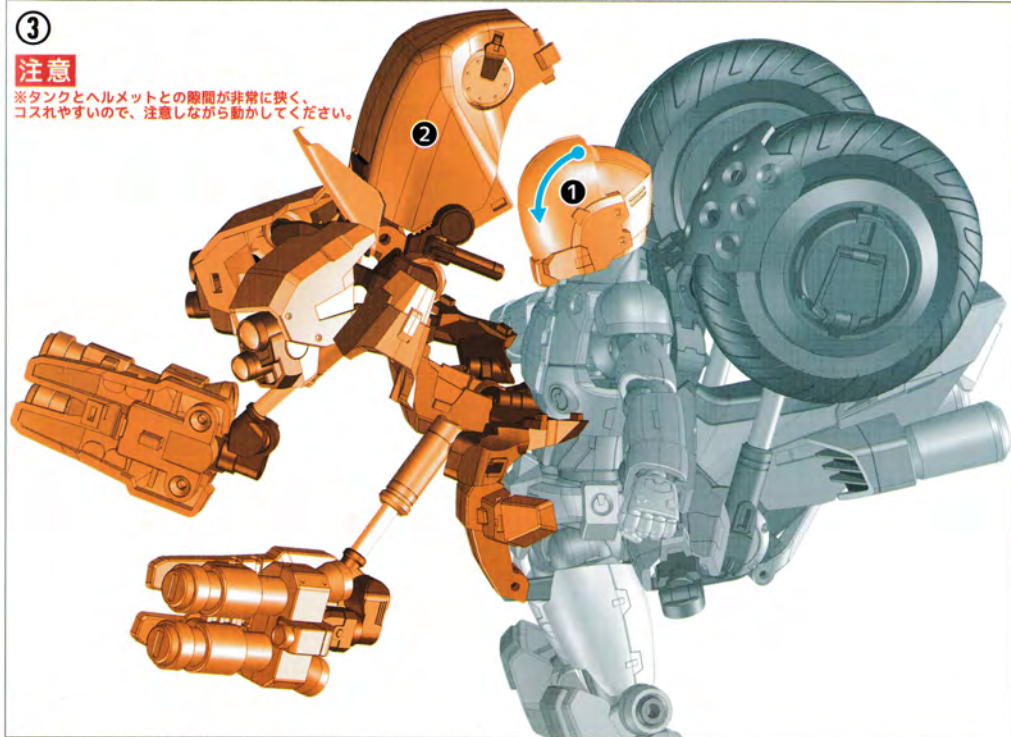
⑳ハンドルカバーを矢印の方向に回転させながら引っ張ります。㉑図のようにハンドルカバーを回転させます。



㉒エンジン部から装着ピンを起こします。ライドアーマー形態の完成です。



①スティックの両足がフレーム部分をまたぐように配置し、②スティックの背面に装着品を取り付けます。

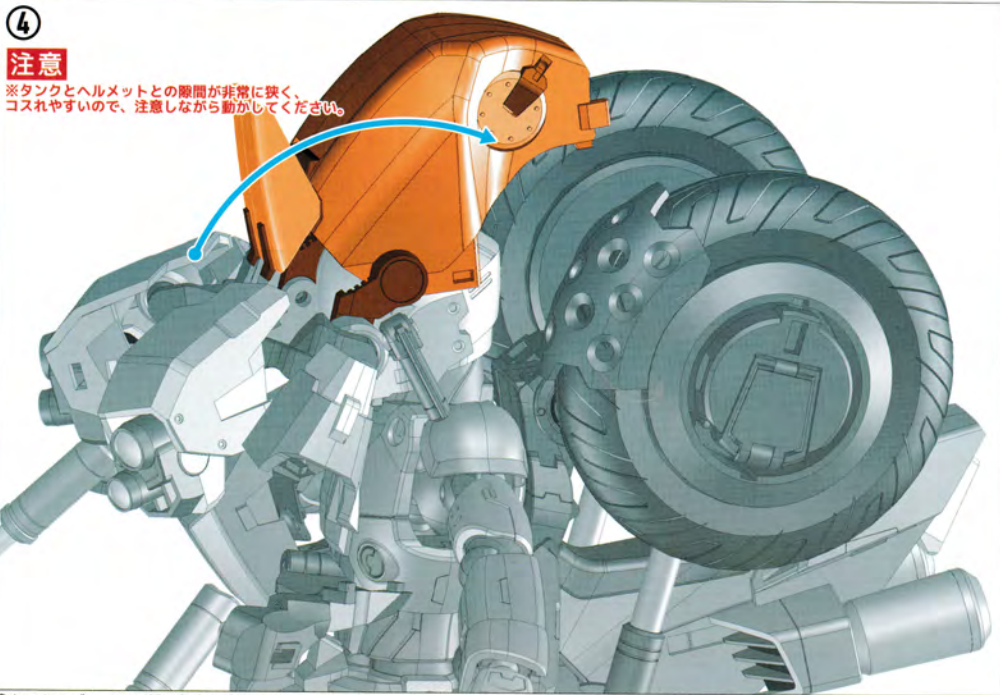


③

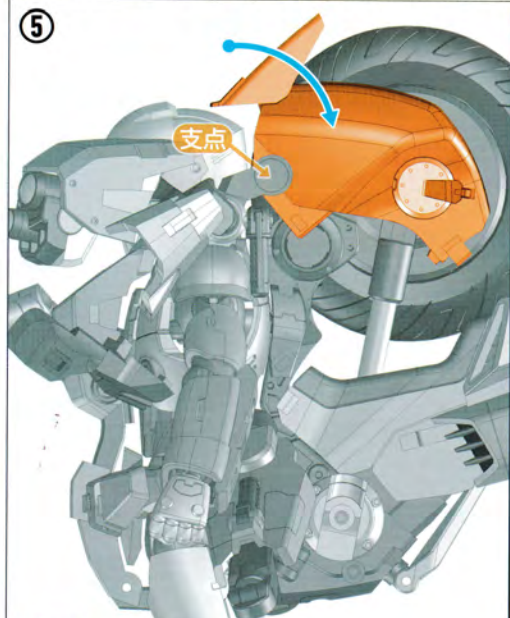
注意

※タンクとヘルメットとの隙間が非常に狭く、コスれやすいので、注意しながら動かしてください。

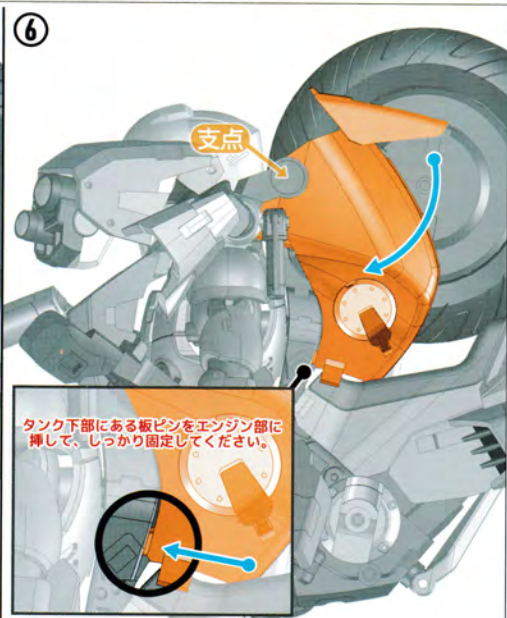
③①スティックの頸を引き、②タンク部が図の位置までくるように移動します。



④タンクのジョイント部の角度や位置を図のように合わせ、ゆっくりとコスれに注意しながら被せていきます。



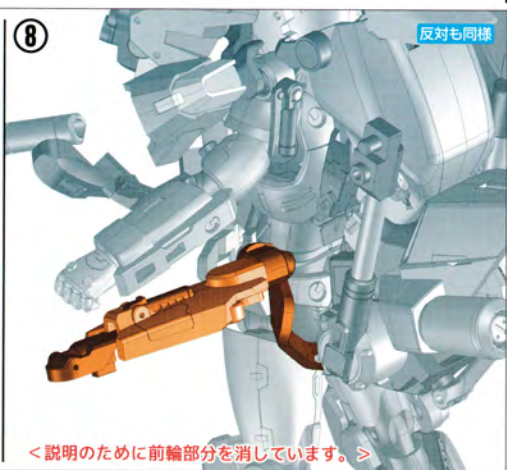
⑤引き続きタンク部をゆっくりとコスれに注意しながら可動させます。



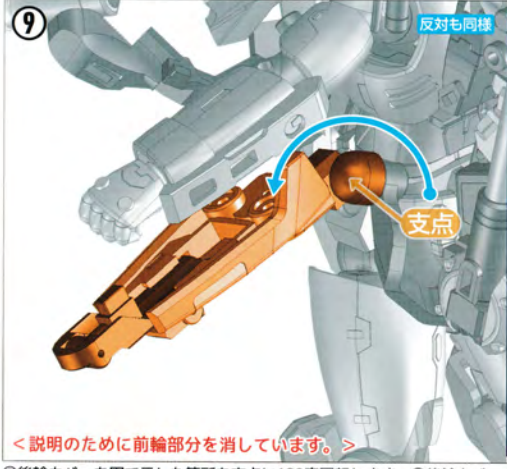
⑥タンク部をエンジン部に被せ、固定します。



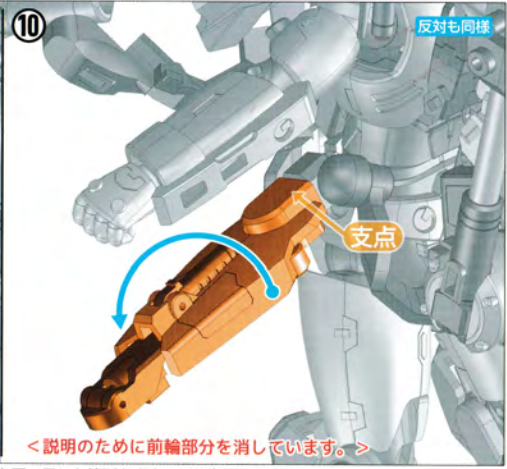
⑦リアカウルを図の位置まで前方向にスライドします。



⑧後輪カバーの位置と形状を図を参考に整えてください。



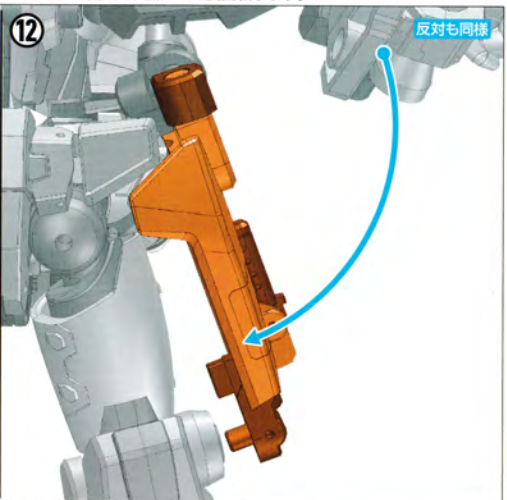
⑨後輪カバーを図で示した箇所を支点に180度回転します。



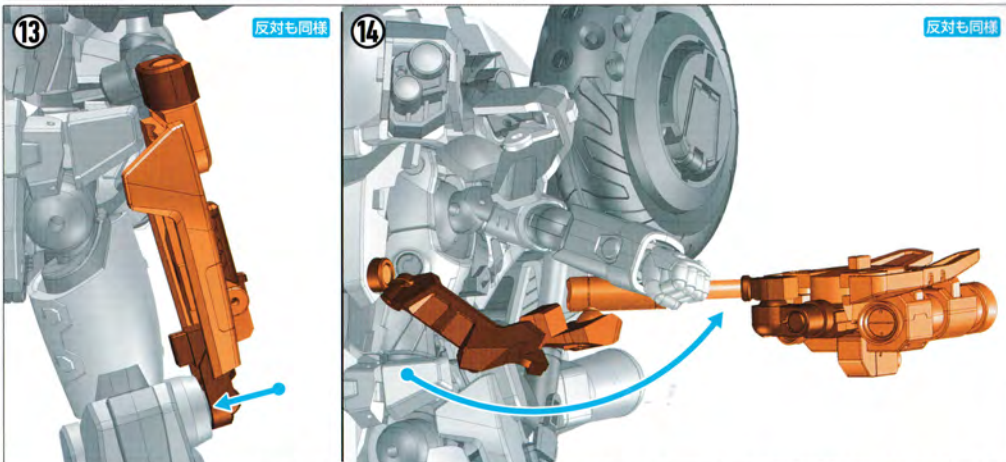
⑩後輪カバーを図で示した箇所を支点に180度回転します。



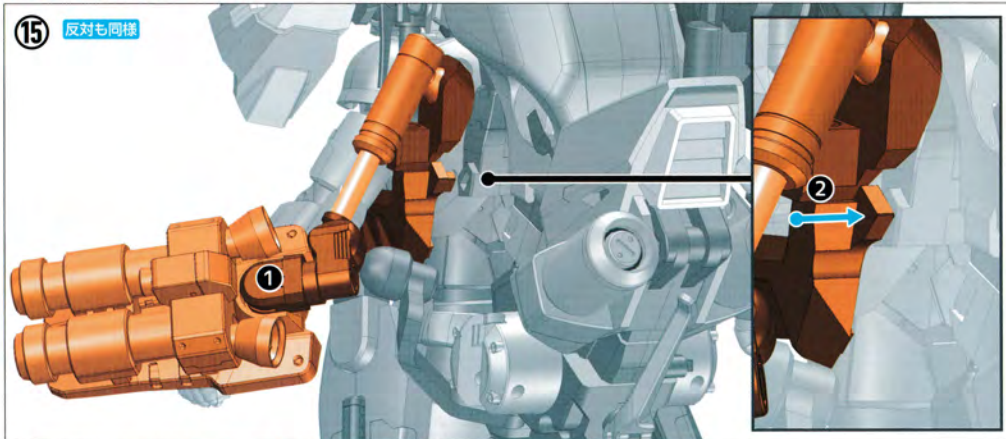
⑪後輪カバーにある固定ピンを展開します。



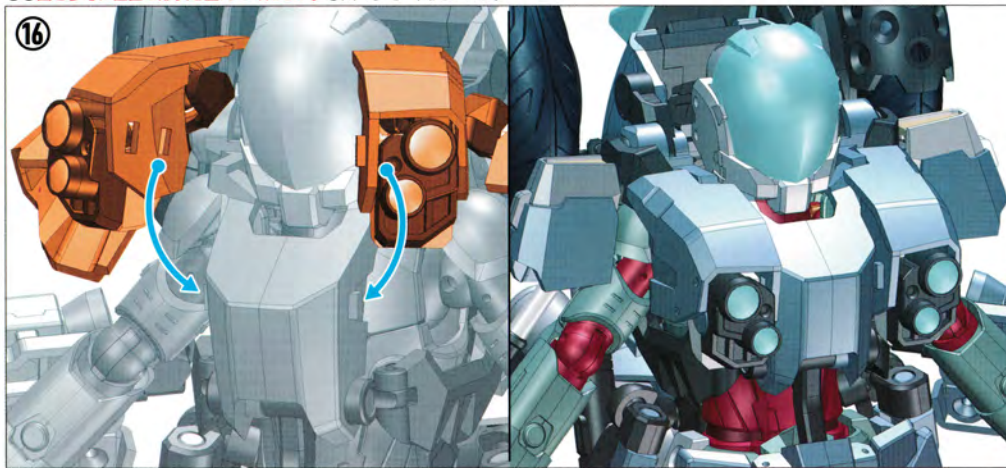
⑫後輪カバーを図のように矢印の方向に動かします。



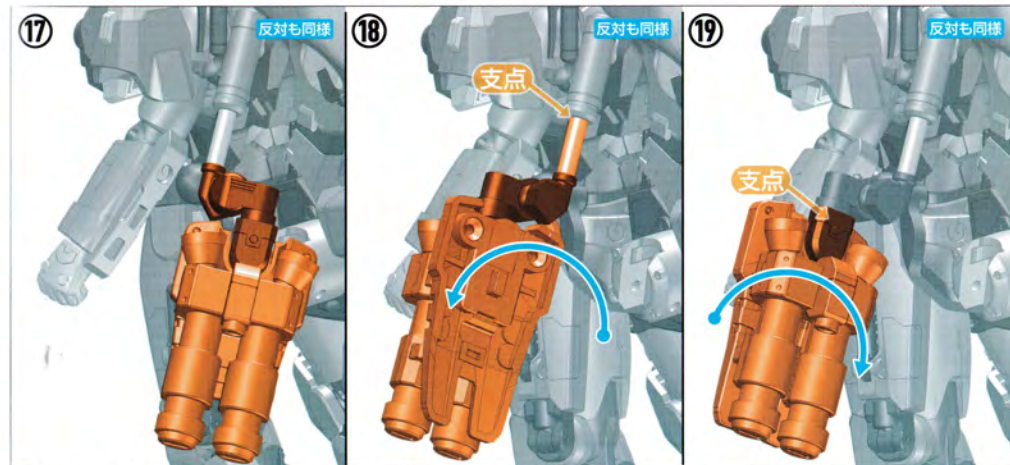
⑬後輪カパーをスティックの膝アーマー側面に取り付けます。⑭エンジンガードと前輪カパーをスティックの脇をくぐるように後方に可動します。図を参考に位置と形状を整えてください。



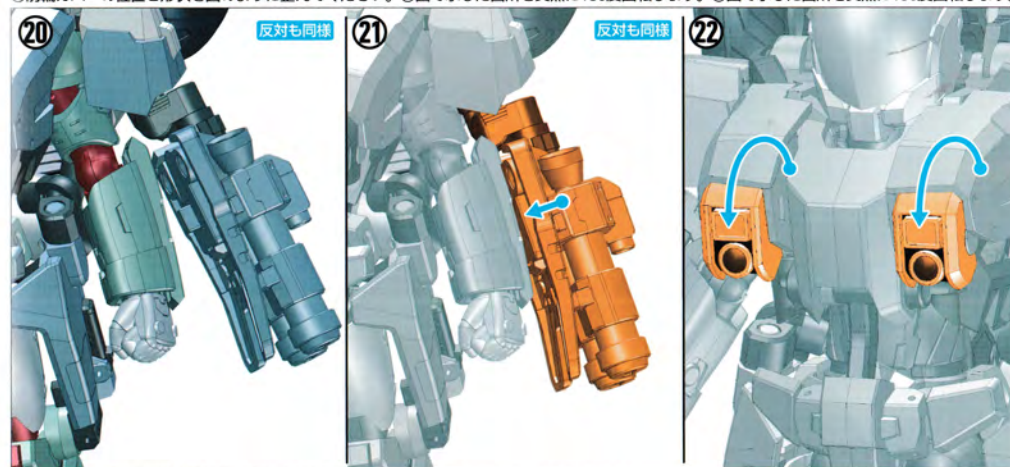
⑮①図を参考に位置と形状を整えてください。②図を参考に固定します。



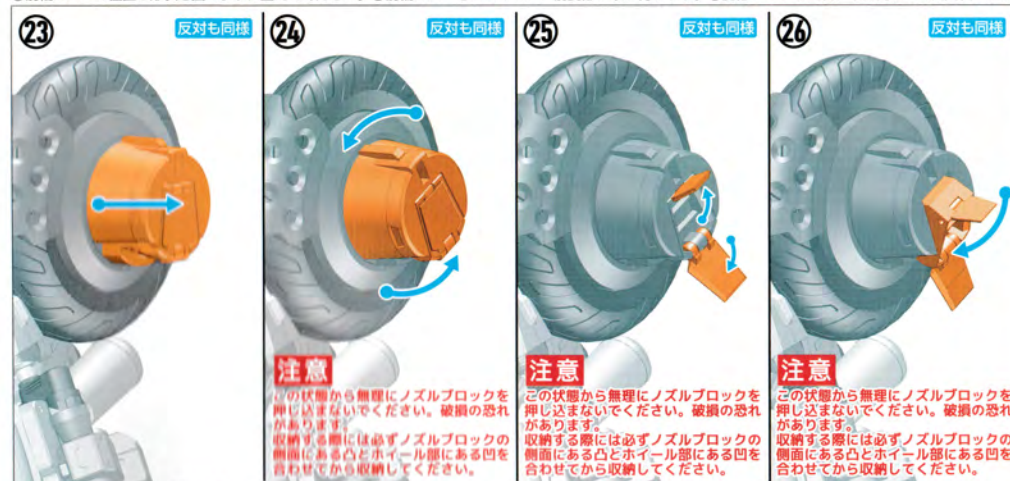
⑯フロントカウル部左右をスティックの胸部に固定します。右図は現在の状態見本です。



⑰前輪カパーの位置と形状を図のように整えてください。⑱図で示した箇所を支点に180度回転します。⑲図で示した箇所を支点に180度回転します。



⑳前輪カパーの位置と形状を図のように整えてください。㉑前輪カパーをスティックの前腰部に取り付けます。㉒胸部ライトを左右、下方向に180度回転します。



注意

この状態から無理にノズルブロックを押し込まないでください。破損の恐れがあります。収納する際には必ずノズルブロックの側面にある凸とホイール部にある凹を合わせしてから収納してください。

注意

この状態から無理にノズルブロックを押し込まないでください。破損の恐れがあります。収納する際には必ずノズルブロックの側面にある凸とホイール部にある凹を合わせてから収納してください。

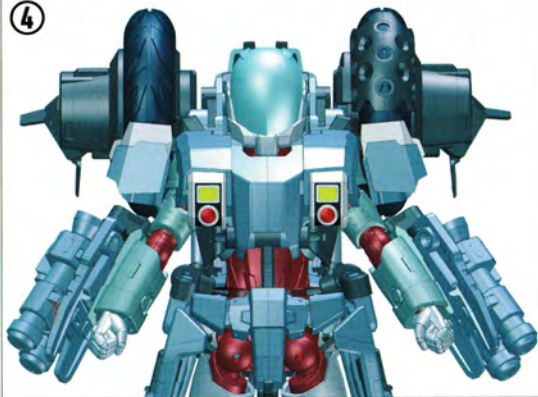
注意

この状態から無理にノズルブロックを押し込まないでください。破損の恐れがあります。収納する際には必ずノズルブロックの側面にある凸とホイール部にある凹を合わせてから収納してください。

㉓タイヤから噴射ノズルを引き出します。㉔ノズルブロックは回転します。*アーマーサイクルに戻す際にノズルブロックの位置が間違っていたら回転し位置を正します。㉕大小2枚のフィンを展開します。㉖大きいフィンの付け根を矢印の方向に動かし、噴射ノズルを引き出します。

ライドアーマー編/ライドアーマーの装着 続き

④



④現在の状態見本です。⑤左右のブーツプロテクターを下に伸ばします。



⑤完成イメージです。ライドアーマーの尻部付近に台座接続用の穴があります。アーマーサイクルへ戻すには逆の手順で変形を行ってください。